

中 日  
新 聞



青山代表理事(前列中央)から認定証を受け取った研究者、留学生ら。羽島市福寿町の国際クラブで

### 県内の研究者らを支援

#### 羽島 国際クラブが認定証授与

持続可能な社会の実現に関する研究を支援しようと、羽島市福寿町の一般財団法人「国際クラブ」は、県内の研究者を対象にした助成制度を始めた。本年度の対象者が決まり、八日、国際クラブで認定証の授与式があった。

国際クラブの創立九十周年事業の一環。県内の大学に在籍する留学生らへの奨学金制度も併せて設けた。約三十件の応募があり、書類審査を経て、研究者と留学生四人ずつが選ばれた。それぞれに六十万円が贈られる。

(中川耕平)

### 研究助成や留学生奨学金創設

#### 国際クラブ、8人認定

羽島市

一般財団法人「国際クラブ」の研究助成金と留学生等奨学金の認定証授与式が8日、羽島市福寿町平方の国際クラブで開かれた。

授与4人の審査委員が、研究助成対象に大学の准教授ら4人、奨学金対象に留学生4人を選出した。各60万円を支給する。

今年、同法人の創立90周年記念事業として、持続可能な社会の構築に向けた学術研究に携わる個人の研究者、グループに「研究助成金」、将来を担う留学生らに「留学生等奨学金」を支給する制度を創設した。

式で、一人一人に認定証を手渡した青山代表理事は「厳正な審査により、8人を選出した。安心して継続的に学び、研究してもらい素晴らしい成果を期待する」とあいさつした。

同法人の青山英世代表理事や鈴木文昭岐阜大名菅教

述べ、バングラデシュから留学している岐阜大大学院

連合農学研究科のラキブザマン・エムディーさん(30)は「奨学金をしっかり活用して自分のため、母国や岐阜県のために役に立つよう勉強する」と語った。

(長尾剛次)



青山英世代表理事(左)から認定証を受け取る留学生。羽島市福寿町平方、国際クラブ

岐 阜  
新 聞